

愛知県、新体育館の建設・運営

前田建設・ドコモなど選定

【名古屋】愛知県は2026年のアジア競技大会開催に向けて建設する新体育館の建設、運営の事業者に、前田建設工業とNTTドコモを代表とするグループを選定した。メインアリーナの観客席はオーバル型と馬てい

型を組み合わせ、最大収容1万7000人。2021―25年に建設、25年から30年間運営する。落札額は199億9910万円。同体育館は民間資金を活用した社会資本整備(PFI)手法で設計、建設、運営まで一

体で行うBTコンセッション方式を採用。事業者は前田建設とNTTドコモ、東急、三井住友ファイナンス&リース、日本政策投資銀行などのグループ。国内最大相当数のビジョン映像で観戦・鑑賞体験を演出し、VIPエリアを設ける。

今後条件を詰めて、6月頃に特定事業契約を結ぶ。